

保育所等利用待機児童数ゼロ “3年連続” 達成

と き 4月13日（木）発表

区は、令和5年4月1日現在、保育所等利用待機児童数ゼロを達成した。待機児童数ゼロは、令和3年・4年に引き続き、3年連続での達成となった。

区ではこれまで、全国初となる区独自の幼保一元化施設である「練馬こども園」の創設、認可保育所等の新設等に取り組み、全国トップクラスとなる約8,500人の定員増（9年間）を実現してきた。

3年連続の待機児童数ゼロの実現を受けて、前川 耀男（まえかわ あきお）練馬区長は、「認可保育所の大幅定員増に『練馬こども園』の創設など独自の工夫を加え、3年連続で、今年も待機児童ゼロを達成することが出来た。保育所は、社会を支えるインフラ。引き続き、働く保護者のニーズに応えられるよう、取り組んでいく。」とコメントした。

【練馬区の待機児童対策の歩み】

区の保育需要は増加を続け、平成26年（2014）年4月の待機児童数は487人に上った。

前川区長は、平成26年4月の就任以降、待機児童の解消を区政の最重要課題の一つに掲げ、認可保育所や地域型保育事業などの多様な保育施設の誘致に加え、平成28年度から区独自の幼保一元化施設である「練馬こども園」を創設し、新規整備・定員拡大を積極的に推進。また、1歳児の保育需要に対するセーフティネットとなる「1歳児1年保育事業」を区独自に実施。こうした取組により、平成26年から令和5年までの9年間で約8,500人の定員増を図り、3年連続で国要領に基づく算定基準での待機児童数ゼロを達成した。

〔区独自の幼保一元化施設「練馬こども園」〕

春・夏・冬休みを含む通年で、9時間から11時間の預かり保育を実施する私立幼稚園を「練馬こども園」として認定

〔1歳児1年保育事業〕

1歳児を対象に、新設保育園で4・5歳クラスを設置していない園の空き部屋等を活用し、最大1年間の保育を実施

